

「マツダロードスター」をよりスタイリッシュにリフレッシュ

—VS に高級感ある布仕様の幌を採用し、ボディカラー2色を新設定、標準装備を充実—

マツダ(株)は、オープンスポーツカー「ロードスター」を一部商品改良し、本日より(VS および新色は8月より)全国のマツダアンフィニ系および一部のマツダ系販売店を通じて発売する。



マツダロードスター 1800 VS コンビネーション A

「ロードスター」は、意のままに操る楽しさやオープンで走る爽快感、個性的なスタイルなどにより、マツダのブランドメッセージ「Zoom-Zoom(ズーム・ズーム:子供の時に感じた動くことへの感動)」を象徴するモデルである。また、「2人乗り小型オープンスポーツカー生産台数世界一」として、ギネスワールドレコードにも正式認定されている世界的ヒット商品であり、1989年の初代発売から64万台以上*を生産し、現在もなお好評を博しながら記録更新を続けている。

*ロードスターは、1989年4月から生産開始し、2002年の5月末までに644,612台を生産している。

今回の一部商品改良の主な特徴は以下の通り。

- ・ VSグレードに、上質なスポーツテイストのコンビネーションAと、シックなテイストのコンビネーションBの2仕様を新設定。ブラックレザーシート(ブラック内装)とベージュレザー

ーシート(ベージュ内装)を新採用し、幌は内装色とコーディネートされた高級感ある布仕様とした。

- ・ Aピラートリム形状変更による頭部保護の充実やチャイルドシートアンカー採用による安全性向上
- ・ ボディカラー2色(スプラッシュグリーンマイカ、ガーネットレッドマイカ)を新設定
- ・ 撥水ドアガラス&ドアミラー、ステンレス製スカッフプレートの標準装着やBOSEサウンドシステムのオプションの拡大展開

■ロードスターの主な変更内容は以下の通り。

1. VS グレードに2タイプの仕様を設定

- ・ 上質なスポーツテイストのコンビネーション A
ブラックレザーシートにアルミ調のセンター&シフトパネルを標準装備。幌は内装に合わせたブラックで、高級感のある撥水加工を施した布を採用し、よりスポーツカーらしいコンビネーションとした。
- ・ シックなテイストのコンビネーション B
現行のタン内装をベージュ内装に変更し、ステアリングやシフトノブ、センター&シフトパネルにダークウッド調を採用。幌は内装に合わせたベージュで、高級感のある撥水加工を施した布を採用し、シックなコンビネーションとした。



マツダロードスター 1800 VS コンビネーション B



マツダロードスター 1800 VS コンビネーション B
(4EC-AT 車)

2. 安全性の向上

- ・ ISO-Fix 対応チャイルドシートアンカーを追加。
- ・ 衝突時の頭部への衝撃力軽減のため、Aピラートリムの形状を変更。

3. ボディカラーに新色 2 色を新設定

スプラッシュグリーンマイカとガーネットレッドマイカの 2 色を新設定。
(クリスタルブルーメタリックは廃止)

4. 標準装備の拡大展開

撥水ドアガラスと撥水ドアミラーは、ベースグレードの M と NR-A 以外の全車に標準装備とし、ステンレス製スカッフプレートは、AT 車全車に標準装備とした。

5. メーカーオプションの BOSE サウンドシステムを拡大展開

1600 DOHC モデルに、メーカーオプションとして BOSE オーディオの選択を可能とした。

■車両本体の全国希望小売価格は以下の通り(消費税を含まず/単位:千円)。

エンジン	機種	変速機	全国希望小売価格
1600 DOHC	M	5MT	1,839
		4EC-AT	1,982
	NR-A	5MT	2,048
	SP	5MT	1,995
		4EC-AT	2,045
	1800 DOHC	S	6MT
4EC-AT			2,231
RS		6MT	2,333
RS-II		6MT	2,442
VS コンビネーション A		6MT	2,398
		4EC-AT	2,446
VS コンビネーション B		6MT	2,398
		4EC-AT	2,446